

# LMO

Summer

## 夏号の主な内容

人物紹介①	2	
トピックス①	米海軍横須賀基地艦船修理廠及び 日本地区造修統括本部 第6期EPDP 募集地まる	3
各地の職場から	4	
トピックス②	キャブ富士ランドクラブフェスティバル及び相模総合福祉館 バリアフリーフェスティバルで在日米軍従業員の就業機会活動を果たしました	5
人物紹介②	6	
トピックス③	イースターエッグハント開催一経ヶ岬通信所	7
トピックス④	巨大オブジェ“MISAWA”出現	7
トピックス⑤	在日米海兵隊岩国基地から エルモ職員に対し感謝状贈呈	8
わが支部の顔	8	
ティータイム	9	
Information	10~12	

LABOR MANAGEMENT ORGANIZATION

vol 69 2019.7



独立行政法人 駐留軍等労働者労務管理機構【エルモ】

## 人物紹介



### Ms. Marguerite (Maggie) Ruel

Labor Branch Chief (J14) USFJ



Thank you to LMO for the honor of allowing me to introduce myself here! I arrived in Japan in February of this year and began my new position as the Chief of the USFJ Labor Branch. This is my first time living outside the U.S. and I am thankful for this great privilege to live and work in beautiful Japan. I am very excited about beginning this new adventure.

I have worked in the Human Resources field for over ten years. I relocated to Yokota Air Base from Boston, Massachusetts where I worked in Labor and Employee Relations for the U.S. Department of Homeland Security.

I am extremely grateful for the expert work of the J14 team, which includes four local nationals and one other U.S. civilian. I appreciate that my team-mates in J14, along with our LMO and MOD partners, have welcomed me and continue to ensure that the local national employment program at USFJ is run effectively and efficiently. I look forward to continuing the collaborative relationship between USFJ, LMO, and MOD.

My local national colleagues have introduced me to many interesting places around base and also a lot of delicious Japanese foods. I am enjoying living and working on Yokota Air Base and I know from experience that the local national employees contribute greatly to our community. I hope through my work that I also will be able to make significant contributions to the USFJ community.

In my time here, I look forward to traveling with my husband, enjoying the culture of Japan, and hopefully learning more Japanese.



### マーガリート(マギー)・ルー

在日米軍司令部 労務課 (J14) 課長

エルモの広報誌にて自己紹介する機会を与えていただき、感謝申し上げます! 私は今年の2月に来日し、在日米軍司令部の労務課長に着任しました。米国を離れて生活するのは今回が初めてのことで、美しい日本に住んで仕事をするという大きな榮譽に感謝するとともに、新しい冒険の始まりにとっても興奮しています。

私は10年以上、人事のフィールドで働いてきました。横田基地へ来る前は、マサチューセッツ州ボストンにて、国土安全保障省の労務及び従業員関連の仕事をしていました。

労務課(J14)チームには私の他にアメリカ人の連邦政府職員が1名と日本人(MLC)従業員が4名おりますが、彼らのエキスパートとしての働きぶりにとても感謝しています。J14スタッフのみならず、在日米軍で働く日本人従業員のプログラムを有益かつ有効的に運用するパートナーでもあるエルモ及び防衛省の皆さまにも温かく迎えていただき、大変感謝しております。在日米軍、エルモ、そして防衛省と今後も引き続き友好な協力体制を維持していくことを期待しております。

私の日本人スタッフから、基地周辺の多くの興味深い場所やおいしい日本食を紹介してもらいました。横田基地での生活と仕事を楽しむとともに、その経験からも日本人従業員が私たち(在日米軍)へのコミュニティへ多大な貢献をしていることがわかります。私自身も仕事を通じて在日米軍のコミュニティへ多くの貢献ができるよう願っております。

日本では夫と様々なところへ旅行し、日本の文化を楽しみ、そしてたくさんの日本語も学びたいと思っております。

## トピックス①

## 米海軍横須賀基地艦船修理廠及び日本地区造修統括本部 艦船修理技術者育成プログラム (EPDP) 第6期募集始まる

エルモ横須賀支部と米海軍横須賀基地艦船修理廠及び日本地区造修統括本部 (SRF-JRMC) は、2020年4月からの採用に向けて艦船修理技術者育成プログラム (EPDP) の第6期募集を2019年3月1日から開始しました。

このEPDPの制度は、SRF-JRMCの任務である米海軍艦船に対する保守整備、改造・改修工事、ドック内および海上において行われる様々な修理業務のために必要な技術者を長期的な視点で人材育成するために2014年に発足しました。



艦船修理技術者として採用されるためには、本来、それぞれの職種における実務経験を有することが必須条件となります。しかし、EPDPの制度では実務経験がなくても応募することができます。(ただし、職務の性質上、機械、電気、電子、構造、船舶等の工学分野の一般的な原理と理論についての理解力を求められます。)

EPDPの目的は、未経験者を4年間で各分野の技術支援の専門家を育成することです。EPDPの下で採用されると、監督者や先輩技術者の指導の下、座学研修やOJT(職場内実務訓練)を受け、さらに職種ごとに必要な資格や免許を取得するためにOff-JT(外部訓練)や英語の語学研修を受けることとなります。現在31名の従業員が一人前の技術者となるべく日々励んでいます。

2019年5月7日の募集締切に先立ち、3月3日に横浜市にある「タカシマヤローズホール」において、また3月23日と4月6日には横須賀市にある「ヴェルクよこすか」においてそれぞれ説明会を行いました。合計78名の方が説明会に参加して下さいました。説明会は、全体説明と個別説明の二部構成で行いました。全体説明において、SRF-JRMC職員による業務内容及び英語力を養うための部隊内の語学研修制度について説明してもらいました。また横須賀支部職員がスライドショーを用いて在日米軍従業員の位置付け、給与及び諸手当等の待遇と応募方法について説明を行いました。個別説明では、職場ごとに設けた各ブースで監督者やEPDP訓練期間中の現役従業員から具体的な職務内容や職場の雰囲気を知ったり、雇用条件ブースでは横須賀支部職員の説明に熱心に耳を傾けるなど、求人募集に関する参加者の関心の高さがうかがえました。

また、3月から4月にかけて、船舶工学関係の科目・コースを学べる関東及び九州地方の7つの大学を訪問し、EPDP制度について説明し、学内企業説明会へ参加するなど各方面への周知を行いました。参加した学生からはEPDPの制度、職場の雰囲気及び応募方法について多くの質問が寄せられ、EPDPの制度に興味を持って参加されていました。

このような周知活動の結果、38名の応募者を横須賀支部で受け付け、これから選考が行われます。

横須賀支部は、今後も米海軍横須賀基地と連携をとり、細やかで積極的な募集活動に取り組んで参ります。在日米軍施設で働くことに興味のある方、お気軽に横須賀支部にお問い合わせください。

## 各地の職場から

今回は東京都の横田基地に勤務し活躍されている方々を紹介します。



### プロフィール

お名前：<sup>やぎ</sup> <sup>まさと</sup> 正人  
 職場名：太平洋空軍 音楽隊  
 職種：社会関係専門職  
 趣味：ラテンダンス、読書、語学

### プロフィール

お名前：<sup>みやした</sup> <sup>ともこ</sup> 知子  
 職場名：第374 施設中隊エンジニアリング部  
 プロジェクト管理課チームB  
 職種：技師（ランドスケープ）

### コメント

私の職場の太平洋空軍音楽隊の活動範囲はインド・太平洋圏内 36 カ国ですが、音楽隊が日本国内で行う日米音楽親善演奏の際のコーディネートを担当しています。音楽隊の任務は国際言語である音楽を通して、音楽親善大使として日本とアメリカの友好関係を深め絆を結ぶことです。私はその橋渡しを任されており、演奏会では MC として舞台上に立ち、更に通訳業務なども担当します。また、事前に主催者との日程調整や演奏会場での舞台担当者との打合せなども私の仕事の一つです。幸いこういった業務は前職の旅行会社勤務の経験が活かしていると思っています。演奏場所はホールだけでなく幼稚園や学校、お祭り、病院や老人ホームなど多岐にわたります。また、自衛隊や消防団、警察の音楽隊様や市民吹奏楽団様との合同演奏はとても刺激的で、友好を深める絶好の機会です。音楽は人と人を結びつける大きな力を持っています。音楽を聴いて一瞬で笑顔に包まれるお客様を見た時にはとても感動し、やりがいを感じます。これからも日本各地で音楽を通じた日米友好に努力いたします。また、演奏の依頼などがあればお気軽にお問い合わせください。

### コメント

私は平成 17 年から横田基地で技師として働いております。私の所属するエンジニアリング部プロジェクト管理課は、横田基地における建設プロジェクトの管理を職務としております。横田基地における建設プロジェクトには、日本の予算で行われるものと米国軍事国家予算で行われるものがあり、施設の新設、改修、修繕などプロジェクトの規模も種類も様々なものがあります。日々の業務としては、入札図書（図面や仕様書など）を準備し、見積書を作成したり、あるいは外注した設計のレビューをして、設計が日本及び米国基準に準拠しているかどうか確認したりします。建設が始まってからも、工事の検査官と現場に行き進捗を確認したり、現場での会議に出たりして、プロジェクトの遂行を確実にします。また近年は、プロジェクトの企画段階から関わることも増えており、企画レポートのレビューなどもします。

プロジェクト管理課はチーム制となっており、現在 4 つのチームがあります。各チームに建築、土木、電気、機械などの技師や、工事の検査官がおり、各々のチームが力を合わせて、プロジェクトが無事に進むよう管理しています。各チームの上司やプロジェクト管理課の上司は米軍属の技師で、課全体で現在設計中のものと建設中のものを合わせて 150 のプロジェクトを管理しています。チームの皆が毎日とても忙しく、仕事上の必要から勉強すべきことも膨大で非常にチャレンジングですが、やりがいを感じて仕事をしています。

## トピックス②

## キャンプ富士フレンドシップフェスティバル及び相模総合補給廠ハワイアンフェスティバルで在日米軍従業員の募集周知活動を実施しました（座間支部）

座間支部では、在日米軍従業員の募集周知活動の一環として、在日米軍基地のイベントにおいて広報ブースを設置し、在日米軍基地での仕事に興味を持った来場者に基地従業員の求職状況、勤務条件等について説明を行うなどの募集周知活動を実施しています。

2019年（令和元年）5月11日、静岡県御殿場市に所在する米海兵隊キャンプ富士において「キャンプ富士フレンドシップフェスティバル」が開催されました。当日の御殿場市は快晴で、約7千人の来場者がありました（主催者発表）。

会場内では、バンド演奏などの催し物が行われたほか、米軍や自衛隊の装備品展示がありました。

また、ピザやハンバーガーなどの飲食店が多数出店され、中でもアメリカンサイズのピザ屋さんには長蛇の列ができ、夜には花火が打ち上げられるなど、来場者の皆さんが楽しめるフェスティバルでした。

さらに、同年5月12日、神奈川県相模原市に所在する米陸軍相模総合補給廠において「相模総合補給廠ハワイアンフェスティバル」が開催されました。当日は快晴で、心地よい春の風の中、約9千人の来場者がありました（主催者発表）。

当イベントでは、フラダンサーズによるフラダンスや生バンド演奏などの催し物とともに、ロコモコ等のハワイアンフードやハンバーガーなどの飲食店も出店され、来場者は思い思いにハワイアンな雰囲気を満喫している様子でした。

また、同時開催された東日本国際親善マラソンのランナーの皆さんに参加者も熱心な声援を送っていました。

募集周知活動は、両日ともイベント会場内に広報ブースを設置し、当支部職員と米側人事担当者が協力して、来場者に募集リーフレット及びクリアファイル等を配布するとともに、基地で働くことに興味を持った来場者に対しては、個別に説明を実施しました。

説明を受けた人の多くは基地で働くことができることを知らなかったようで、家族・知人等が求職中なので待遇など詳しく教えてほしい、地元（御殿場市）在住だが在日米軍従業員のことは知らなかった、就職先のひとつとして検討したい、転職を考えているので早速エルモホームページを確認し選択肢に加える等多くの質問や反応がありました。

また、来場者視点に留意し、求人情報を「英語が必要な職種」と「英語が必要な職種」で分類して広報ブースに掲示したり、募集リーフレットに「座間支部の住所、電話番号」をシールで貼るなどの工夫をしたところ、来場者から「見易い」「応募先が分かり易い」などの反応があり、広報ブースは、夕方まで来場者が途切れることなく、各イベントともに大盛況でした。

座間支部では、引き続き現地米軍と協力し、在日米軍基地のイベントにおいて、広報ブースなどで募集周知活動を行いますので、在日米軍従業員にご興味のある方の来訪をお待ちしています。



## 人物紹介



## John S. McCray

Marine Corps Air Station Iwakuni, Japan  
Director of Civilian Human Resource Office



Minasama Konnichiwa!

It is a great honor to be serving as the Director of Civilian Human Resource office, Marine Corps Air Station, Iwakuni. I moved here with my Wife and 4 year old daughter, and assumed the position on 18 February 2019. This is my third tour in Japan. As a Chief Petty Officer with the USN I worked for Commander Naval Region Japan in Yokosuka running Navy Reserve programs throughout Asia from August 2002 until my retirement in October 2006. On 11 March 2011, I was shocked to hear of the tragic earthquake in Sendai. With the threat of possible effects from Fukushima reaching as far South as Yokosuka, several Civilian Employees were evacuated from Japan, not to return. With a background in Recruiting, knowledge of Naval Forces Japan and a love for the Japanese people, I knew I could be of assistance. I returned to Yokosuka to assist building back the workforce for Ships Repair Facility Yokosuka where I worked on recruitment and manpower for the next four years until August 2015.

The next three years I spent on the Island of Guam working for NAVFAC, Joint Region Marianas and as the HR Officer with DPRI preparing to open Marine Corps Base Guam. When the opportunity to come to Iwakuni presented itself, I knew this was the right move for me and my family. I can think of no better community to raise my daughter than Iwakuni. My philosophy of how to be an effective director is not traditional. I understand that when an employee is not focused on work because they have a personnel problem, they are often stressed and possibly not working effectively or safe. If I or my office staff can support you within regulations, we look to do so. It should be that simple.

Everyone of us on MCASI provides a critical role providing continuous base-operating support for base operations for both US and allied forces for training and operations throughout the Indo-Asia Pacific Region. Whether you are in food service, building maintenance, safety and security or an administrative role, someone is relying on you for service so they can have a safe, effective work environment and quality of life on and off duty.

The MLC/IHA work force particularly holds a critical role in the stability and continued knowledge of this base. I have the highest appreciation and admiration for your contribution. I look forward to leading our HR Team in doing our very best in providing you the support you need.

On behalf my family, thank you for welcoming us to the community. We already love it here and we look forward to sharing in your wonderful cultural and historical events.



## ジョン マクレイ

在日米海兵隊岩国航空基地  
民間人事部長

皆様こんにちは!

米海兵隊岩国航空基地の民間人事部長として勤務することができ大変光栄に思います。2019年2月18日に妻と4歳の娘と共にこちらに赴き、現職に就きました。日本での赴任は3度目となります。2002年8月から2006年10月に退職するまで、米海軍上等兵曹として横須賀にある米海軍日本管区司令部に勤務し、アジアにおける海軍予備役プログラムの運営に当たりました。2011年3月11日、私は仙台の悲惨な地震のことを聞きショックを受けました。福島から起こりうる影響が南方の横須賀まで及ぶ恐れから、民間人の職員数人は日本から避難し、戻ることはありませんでした。私は募集業務の経験があり、在日米海軍の知識もあり、日本人々への愛着もありましたので、お役に立てると考えました。横須賀に戻り、2015年8月までの4年間、募集および人的資源の管理に従事し、米海軍横須賀基地艦船修理廠の再建に尽力しました。

その後の3年間はグアム島で過ごし、グアム米海兵隊基地開設を準備していた米軍再編事業部の人事職としてマリアナ統合司令部米海軍施設技術部隊に勤務しました。岩国に赴任する話が持ち上がった時、私は自分と家族にびつたりの異動だと思いました。娘を育てるのに岩国より良いコミュニティは思いつきません。

有能なディレクターになる方法について私の信条は旧来とは異なります。私は、従業員に人事上の問題があるため仕事に集中できないときは、彼らが常にストレスを感じ、効果的あるいは安全に業務ができなくなると理解しています。規則の範囲内で私共人事部が支援できることがあれば、それを実行するつもりです。それはいたってシンプルなはずですが。

米海兵隊岩国航空基地に勤務する私達は皆、インド・アジア太平洋地域における訓練とオペレーションのため、米軍及び同盟軍の基地運用への継続的支援を行う必要不可欠な役割を担っています。あなたがフードサービス、建物保守、安全、警備のような職種、または管理職であっても、任務の内外において安全で効率的な職場環境、快適な生活環境を得るため、誰かがあなたを頼りにしています。

MLC・IHA従業員は、当基地の安定と基地についての知識継承において重要な役割を担っています。皆様の貢献に最高の感謝と賞賛をお送りします。皆様に必要な支援を行えるよう、人事部を率いて最善を尽くす所存です。家族に代わりまして、コミュニティに私達を温かく迎え入れてくださったことに感謝いたします。既にここが大変気に入って、文化的、歴史的な素晴らしいイベントを共に体験できることを楽しみにしています。

## トピックス③

## イースターエッグハント開催一経ヶ岬通信所

4月20日、京丹後市にある京都府丹後文化会館前芝生広場及び峰山地域公民館において、京丹後市国際交流協会及び経ヶ岬通信所共催による3歳から小学6年生までの子供を対象としたイースターエッグハントが開催されました。

このイベントは、同通信所が開設されて以来5回目になるので、多くの市民から好評を得ています。

当日は、天候にも恵まれ、経ヶ岬通信所第14ミサイル防衛中隊長であるブラッド・ブガド陸軍少佐から、参加者の方々に協力いただいた関係機関、ボランティアスタッフへ感謝を述べると共に、参加者にはイースターイベントを楽しんでもらいたいとの挨拶があった後、参加者親子、軍人及び在日米軍従業員等合わせて約200名が参加しエッグハントが行われました。子供達は、芝生に置かれたキャンディーの入った卵のカプセルを見つけるとは、歓声をあげ嬉しそうにバスケットに詰めていました。他にもイースターにちなんだゲームなども行われ会場全体が子供達の嬉しそうな声に包まれていました。



## トピックス④

## 巨大オブジェ“MISAWA”出現

雪も溶け日増しに暖かくなっているこの春先、三沢支部庁舎に隣接する基地正門前の芝生に、支部職員も知らぬ間に、巨大な白い“MISAWA”のオブジェ（右写真）が、突然出現していました。

基地ゲート近くに設置されたこのオブジェの前では、連日、多くの市民、米軍関係者、観光客が足を止めて、興味深げに眺めたり、スマホで撮影したりしています。

背後に三沢支部庁舎が映り込むこのポジションは、インスタ映えする写真が撮影できる絶好のスポットとなっているようです。（駐留軍等労働者募集中の広告がないのが残念！）

三沢市では、航空祭やアメリカンデーなどの三沢基地及び地域との間の交流イベントが多く開催されており、こうしたイベントにお越しの際には、是非この“MISAWA”のオブジェの前での記念撮影はいかがでしょうか？

ちなみに、三沢市商工会で設置したこのオブジェは、今後、三沢市国際交流スポーツセンター前への出張設置も計画しているとのことで、これから、三沢市内の他の場所でも見つかるかもしれませんね。



昼の光景（後ろが三沢支部庁舎）



ライトアップされている夜景

トピックス⑤

# 在日米海兵隊岩国航空基地からエルモ職員に対し感謝状贈呈

板垣岩国支部長は、3月28日に在日米海兵隊岩国基地司令官リチャード F. ファースト大佐から感謝状を贈呈されました。

板垣氏は、米軍再編に伴う在日米海兵隊岩国航空基地の増員が行われた期間、岩国支部長として勤務し、同基地職員への労務管理に関する助言と専門的な見識により同基地の任務遂行に大きく貢献したことが高く評価され、感謝状を贈呈されたものです。

板垣支部長が感謝状を贈呈されたことは、在日米海兵隊岩国航空基地と良好な関係を発展させることができた証であり、エルモとしても大変名誉なことと考えております。今後も在日米軍の労務管理に関するニーズを的確に捉え、在日米軍及び在日米軍従業員の皆様へより良いサービスが提供できるよう努めてまいります。

※上記の感謝状被贈呈者の役職名は、感謝状贈呈時の役職名です。



## わが支部の顔

今回は長崎県の佐世保支部からです。

氏名	かみたに ゆきお 神谷 起生		あさみず えりこ 浅水 恵理子	
所属	給与厚生課 給与厚生第一係		給与厚生課 給与厚生第二係	
担当業務	給与計算・退職手当計算		健康保険・厚生年金保険	
コメント	<p>私は、平成28年4月に横須賀支部給与厚生課給与厚生第一係に採用され、本年4月からは佐世保支部給与厚生課給与厚生第一係で従業員の皆様の給与計算や退職手当の計算、また地方税や組合費の算定等を担当しております。</p> <p>これらの業務は従業員の皆様の生活に直結する重要な位置づけにありますので、効率よく正確に処理することを最優先課題にして日々の業務処理にあっております。中でも退職手当の計算に関しましては私自身初めて経験するところであり、皆様にとって退職後の生活に欠かせないものであることから、制度等をしっかり理解した上で、さらに緊張感を持って取り組むよう心掛けております。</p> <p>給与、手当等についてご不明な点等がありましたら、わかりやすく丁寧な説明に努めて参りますので、お気軽にお問い合わせください。</p> <p>よろしくお願いいたします。</p>		<p>私は、平成30年4月に横須賀支部から佐世保支部給与厚生課に配属となり、今年の4月からは健康保険・厚生年金保険の担当をしております。</p> <p>業務内容としましては、従業員の皆様の採用・退職時の社会保険の手続き、ご結婚、お子さんの誕生に伴う扶養手続きなどを行っており、ご本人とご家族の大切な節目のときに少しでもお力になれるよう、スムーズでわかりやすい説明を心掛けています。</p> <p>まだまだ学ばなければならないことも多く、説明が行き届かない点もありますが、ご不明な点などありましたらお気軽にお問い合わせください。</p> <p>佐世保にきて1年が過ぎ、地域の皆様の人柄や、美味しい食べ物、美しい海の風景に日々癒されて、大好きな街になりました。素晴らしい環境に恵まれたことに感謝して、これからも佐世保支部での業務に力を尽くして参りたいと思います。</p>	





## みなとまち佐世保の食文化!

旧日本海軍鎮守府の開庁以来、軍港として発展を遂げてきた佐世保港ですが、終戦後は米軍の駐留により異国文化が街中にあふれ、ハイカラな食文化が根付いていったといわれています。

洋食の代表は佐世保バーガー、ホットドッグ、注文してから焼き始めるので少々時間はかかりますが、気軽に入れる店内にはアメリカの音楽が流れ異国情緒あふれる空間です。

それにレモンステーキ、薄めに切られた長崎和牛肉が熱々の鉄板に乗せられレアに近い状態で運ばれてきます。鉄板の熱によりあっという間に火が通ってきますので、お好みの焼き加減でいただきます! ソースはさっぱりした醤油レモン味です。



海域に目を向けてみますと、リアス式に入り込んだ海岸線と大小の島々からなる九十九島の絶景が広がり、観光はもとより海の幸の宝庫となっています。

海に近いことから酒の肴には水産加工品がよく出てきます。

「すば」「高島ちくわ」「すり身揚げ」などプリプリの食感が特徴的で、練り物好きの皆さんに是非食べて頂きたい一品です。

少し炙っていただく「エイのひれ」、「焼きあご(トビウオ)」などの乾物は、噛むほどに深い味わいがあり、カルシウムも豊富で子供のおやつにもピッタリです。



佐世保湾のさらに内海に広がる大村湾には江戸時代初期に九州で最初の捕鯨基地がつくられ、近海で獲れた鯨肉がここを拠点として各地に運ばれて行きました。

すっかり姿を見なくなった鯨肉、今では高級品ともいえますが、以前はどこの海産物屋さんにも置いてありました。

チョップリ塩辛いけどたくさんのご飯が食べられる「塩くじら」、酒の肴に「赤身の刺身」「鯨ベーコン(うね)」など、苦しかった戦後日本の食糧事情を支えた大切な蛋白源でした。皆さん食べたこと、いや、見たことありますか!



佐世保に足を運ばれる機会がありましたら、皆さん是非!本場の味をご賞味ください。

## 令和元年度「被扶養者資格確認調査(検認)」の実施について

駐留軍要員健康保険組合が令和元年度「被扶養者資格確認調査(検認)」を実施します。  
提出書類や注意事項等については以下のとおりです。

### 調査対象者

令和元年6月1日現在において被扶養者に認定されている下記の①～③のいずれかに該当する方。  
ただし、平成31年4月1日以降、被扶養者として認定された方は対象外です。

- ① 平成30年10月1日以降に認定された被扶養者
- ② 平成31年4月1日現在、18歳から25歳までの子
- ③ 平成30年12月2日以降に取得された任意継続被保険者の被扶養者

### 書類提出期限

令和元年8月16日(金) 必着

### 提出書類

- (1) 「被扶養者資格確認調査書」
- (2) 「添付書類」

添付書類の例		入手先等	
※詳しくは、調査対象者に配付した「添付書類確認シート」をご覧ください。			
Ⓐ	配偶者の収入証明 (最新のもの)	所得証明書、源泉徴収票、確定申告書等(全ページ)、給与明細書(最新のもの)、年金振込通知書等	市区町村等
Ⓑ	「優先扶養義務者」 の収入証明 (最新のもの)	所得証明書、源泉徴収票、確定申告書等(全ページ)、給与明細書(平成30年1月から12月までに支払いを受けた賞与を含んだ1年分)、年金振込通知書等	市区町村等
Ⓒ	学生証又は在学証明書 (現在有効のもの)	中学生以下の方は不要	就学先
Ⓓ	給与明細書	給与明細書(直近の継続した3か月分)	勤務先
Ⓔ	理由書	優先扶養義務者が他にいる方及び就労可能年齢(16歳以上60歳未満)にある方を扶養せざるを得ない理由を記入してください。 ※障害者手帳をお持ちの方は不要	調査書の裏面
Ⓕ	年金振込通知書 (最新のもの)	年金として受給しているものすべて	日本年金機構等
Ⓖ	確定申告書等 (全ページ)	確定申告書(平成31年申告書提出分)の写し全ページ又は青色申告決算書(平成31年申告書提出分)、雇用保険受給資格者証等	税務署等
Ⓗ	送金証明 (直近の継続した3か月分)	振込明細、通帳、現金書留の控え等送金元と送金先の確認ができるもの(直近の継続した3か月分) ※子の就学の場合は不要	銀行等
Ⓘ	障害者手帳	氏名、交付日、有効期限等が確認できるもの ※学生と未就学児の方は不要	各自治体等

※ 扶養、通勤、住居、単身赴任手当の随時確認のため、エルモ各支部に上記の書類を提出する場合は、「被扶養者資格確認調査書」への添付は省略できます。

### 提出先

エルモ各支部

### 問い合わせ先

駐留軍要員健康保険組合がコールセンターを設置します。  
詳しくは、調査対象者に配付した「はじめにお読みください」をご覧ください。

## アスベスト(石綿)に係る健康相談窓口について

エルモでは、アスベスト(石綿)に係る在日米軍従業員の皆様の健康相談窓口を開設しております。  
アスベスト(石綿)に係る健康相談を希望される方は、最寄りの窓口にご相談ください。

- 対象者 在日米軍従業員及び在日米軍基地に勤務され退職された方など
- 相談内容 アスベスト(石綿)に関すること
  - (例) ● 御自身の健康不良や健康不安に関すること
  - 労災補償制度、健康管理手帳制度に関すること
  - 相談機関の紹介に関すること

御利用方法等については、エルモホームページ又はエルモ支部までお問い合わせください。  
ホームページアドレス：<https://www.lmo.go.jp>



### アスベスト(石綿)に係る健康相談窓口

担当部署	住所	電話番号
労務部厚生課	〒108-0073 東京都港区三田3-13-12 三田MTビル6階	03-5730-2168
三沢支部給与厚生課	〒033-0012 青森県三沢市平畑1-1-25	0176-53-4165
横田支部給与厚生課	〒196-0014 東京都昭島市田中町568-1 昭島昭和第2ビル4階	042-542-7883
横須賀支部給与厚生課	〒238-0011 神奈川県横須賀市米が浜通1-6 村瀬ビル4階	046-828-6946
座間支部給与厚生課	〒252-0011 神奈川県座間市相武台1-46-1	046-251-0702
京丹後支部	〒629-2503 京都府京丹後市大宮町字周枳1975 MICビル1階	0772-68-0920
岩国支部給与厚生課	〒740-0027 山口県岩国市中津町2-15-35	0827-21-1271
呉分室	〒737-0051 広島県呉市中央1-6-9 センタービル呉駅前4階	0823-32-7087
佐世保支部給与厚生課	〒857-0056 長崎県佐世保市平瀬町3-1	0956-23-7191
沖縄支部厚生課	〒904-0202 沖縄県中頭郡嘉手納町字屋良1058-1	098-921-5534

## 心の健康相談について

在日米軍従業員とその御家族の皆様の精神的な悩みなどについて、24時間いつでも電話相談に応じています。

プライバシーは完全に守られます。どうぞお気軽に御利用ください。

#### 実施期間

令和2年3月31日まで

#### 相談できる

在日米軍従業員の皆様のほか、御家族も相談できます。  
※家族の範囲は、配偶者及び子並びに被扶養者です。

#### 費用

相談料は、無料です。ただし、面接相談は、6回目以降は有料となります。  
また、治療行為と認められる経費、交通費等、相談料以外に要する経費は自己負担となります。

#### 留意事項

勤務時間中に電話、面接又はWEBにて相談をされる際は、事前に監督者の許可を得てください。  
(緊急の場合を除く。)

#### 電話・面接カウンセリング

**「相談センター」365日24時間電話相談対応**



専用のフリーダイヤルより御連絡ください。  
面接の申込みも同じ電話番号からお申し込みいただけます。



※ただし、面接は、日本の祝日・日曜日、12月29日～1月3日を除く、月曜日～土曜日 11:00～18:00(面接の終了時間)の対応となります。

#### WEBカウンセリング

- ①専用のアドレスにメールを送信してください。
- ②上記アドレスから回答が概ね3日以内に届きます。



※1 携帯電話からメールする場合は、上記のメールアドレスが受信できるように設定してください。  
※2 年末年始期間等は、3日以内に回答できない場合があります。

※専用のフリーダイヤル、メールアドレスなど、御利用方法の詳細については、エルモホームページで御覧いただけます。

ホームページアドレス：<https://www.lmo.go.jp>

# 募集案内 在日米軍従業員を募集しています!

エルモホームページでは、在日米軍従業員の求人情報を掲載しております。  
興味のある方は、エルモホームページをご覧ください。最寄りの支部にお問い合わせください。



本州・九州の基地



沖縄の基地

インターネットによる応募を受け付けております。

ホームページ(PC及びスマートフォン)アドレス  
<https://www.lmo.go.jp>

LMO

検索

## 支部行事予定 (7~9月分)

### 三 沢

- 7月 扶養・通勤・住居・単身赴任手当の随時確認 (7月~)  
健康保険の被扶養者資格確認調査  
成人病予防健康診断
- 8月 財形貯蓄新規・変更募集 (~9月)
- 9月 制服等更新分給貸与

### 横 田

- 7月 扶養・通勤・住居・単身赴任手当の随時確認 (7月~)  
健康保険の被扶養者資格確認調査  
成人病予防健康診断 (~2月)  
退職準備研修 (都区内)
- 8月 財形貯蓄新規・変更募集 (~9月)
- 9月 制服等更新分給貸与

### 横須賀

- 7月 扶養・通勤・住居・単身赴任手当の随時確認 (7月~)  
健康保険の被扶養者資格確認調査
- 8月 財形貯蓄新規・変更募集 (~9月)  
成人病予防健康診断 (胃検査等) (~9月)
- 9月 制服等更新分給貸与

### 座 間

- 7月 扶養・通勤・住居・単身赴任手当の随時確認 (7月~)  
健康保険の被扶養者資格確認調査  
成人病予防健康診断 (座間地区) (~8月)
- 8月 成人病予防健康診断 (富士地区)  
財形貯蓄新規・変更募集 (~9月)
- 9月 制服等更新分給貸与  
退職準備研修 (座間地区) (~10月)

### 京丹後

- 7月 扶養・通勤・住居・単身赴任手当の随時確認 (7月~)
- 8月 成人病予防健康診断 (~9月)
- 9月

### 岩 国

- 7月 扶養・通勤・住居・単身赴任手当の随時確認 (7月~)  
健康保険の被扶養者資格確認調査  
成人病予防健康診断 (呉地区: ~9月)
- 8月 財形貯蓄新規・変更募集 (~9月)  
退職準備研修 (岩国地区)  
制服等更新分給貸与
- 9月 退職準備研修 (呉地区)

### 佐世保

- 7月 扶養・通勤・住居・単身赴任手当の随時確認 (7月~)  
健康保険の被扶養者資格確認調査
- 8月 財形貯蓄新規・変更募集 (~9月)  
成人病予防健康診断 (~11月)  
退職準備研修 (~9月)
- 9月

### 沖 縄

- 7月 扶養・通勤・住居・単身赴任手当の随時確認 (7月~)  
健康保険の被扶養者資格確認調査  
成人病予防健康診断 (胃検査等) (~12月)  
成人病予防健康診断 (婦人ガン) (~2月)  
退職準備研修
- 8月 財形貯蓄新規・変更募集 (~9月)
- 9月 制服等更新分給貸与 (~10月)

## 編集発行

独立行政法人 駐留軍等労働者労務管理機構【エルモ】  
総務部総務課  
東京都港区三田3-13-12 三田MTビル6階  
Tel: 03-5730-2163  
ホームページアドレス <https://www.lmo.go.jp>

